

闘いのスタート！

連合神奈川2005春季生活闘争方針 22日に総決起集会を開催

賃金等に関する要求について

神奈川における賃金等要求

神奈川における取り組み

- ①賃上げ「要求書」は、2月を原則とし、中小労組はできるだけ早く提出すること
- ②要求にあたっては、「賃金カーブの確保」が最低限”を目標に、生活向上と格差是正をめざし、純ベアに取り組める組合は、積極的にベア要求を行う。
- ③定昇制度や賃金制度が未整備の組合でも賃金カーブがあるという認識に立ち「賃金カーブ維持分」を算出し、「賃金カーブ確保」に取り組む。また、賃金制度の整備と賃金表等の協定化に努める。

神奈川ミニマム運動

参加組合のエントリーや賃金実態調査(個人調査票を含む)を連合神奈川的全構成産別・全組合を対象に2005年2月から実施。「賃上げ集計」は、2月17日(木)に設置の「連合神奈川／中小支援センター」で討議し取り組む。

最低賃金(ミニマム賃金)

- ①標準賃金のミニマム賃金
連合は、誰にでも最低限の生活を保障できる賃金として「生活保障水準」(連合リビングウェッジ)を示しており、その到達目標は**時間額840円、月額146,000円**。
生活保障水準をクリアできる全従業員対象の企業内最賃協定(到達目標:時間額840円以上)と18歳年齢別最低賃金協定(月額)の締結をめざす。
- ②パート労働者等の労働条件、具体的には、「労働条件の明示など法令遵守と、「パートだから」という考え方に起因する差別的取り扱いを排除」などの取り組みを進める。

政策制度要求の取り組み

○ 最重点課題

- ①定率減税の縮小・廃止反対
- ②安心の年金・介護・医療を社会保障制度の抜本改革
- ③パート労働者の均等待遇法制化

春季生活闘争学習会を開催

連合神奈川は1月28日、ワークピア横浜で『2005春季生活闘争学習会』を開催。闘いをスタートさせた。

学習会は講師に連合総合労働局高橋次長を講師に、『2005春季生活闘争への連合の取り組み』と題し講演を受けた。

内容は「企業規模間での賃金格差が開いてきている」「納入品の価格引き下げなど、大手企業のコスト削減のあおりを中小企業が受けている。

大手企業は下請け企業を含めた企業グループ全体の総合力アップを視野に入れた春季生活闘争であって欲しい」「パートなど非典型労働者の急増は経営者の総額人件費抑制によるもの。

企業側のコストとリスクが労働者側に転嫁されている」「人員削減と賃金カットを並べてどちらか選べというのは「砂利とドロ、どっちを食べる？」と迫るようなもの」「労務コスト削減を目的とする成果主義賃金は認めない」「都道府県別地域経済格差も広がっている」と取り巻く情勢を分析し、解説した。

講師は新潟の出身で、先の震災での連合神奈川も取り組みの中で進めてきた支援に対し、感謝の意が述べられた。

春季生活闘争学習会はこのあと、県下9地域連合でそれぞれ行われる。

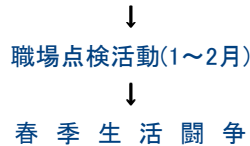
【総合生活改善闘争の展開】

総合的な生活改善

政策・制度要求の実現

社会保障制度見直し。連合税制大綱の実現。良質な雇用創出生活と仕事の調和安全な暮らしの実現。

雇用の安定	事前協議制の確立。労働協約の整備。解雇規定の点検。65歳までの雇用延長。ワークシェアリング。
ワークルールの確立	法定最賃の取り組み。社会的な評価基準。不払い残業の撲滅。安全問題への対応。パート待遇改善。セクハラ防止対策。男女間格差の是正。派遣労働者待遇改善。
労働条件の改善	労働時間の短縮。労働時間管理の徹底。賃金制度の整備。賃金の引き上げ。一時金。退職給付。賃金カーブ確保維持。企業内最賃の取り組み。
取引関係の改善	業種別での共同対応。取引関係の改善。



すべての組合が取り組む課題(ミニマム運動課題)	①「賃金カーブの確保」と賃金カーブ維持分の労使確認 ②規模間や男女間等の格差是正、均等待遇の実現にむけた継続的な取り組み ③全従業員対象の企業内最低賃金の協定化 ④労働時間管理の協定化
組織強化拡大	連合神奈川は2005春季生活闘争とあわせ、「組合づくり・神奈川アクションプラン21」として組織拡大の取り組みを実施します。
「労働相談ダイヤルキャンペーン」	2004年2月中 各地域連合で実施(街頭行動) チラシ配布
まちかど労働相談	4月2日(土) 横浜 そごう前 新都市プラザ 4月16日(土) 川崎 川崎地下街 アゼリア
地域連合総会	県下9地域連合は11月19日の川崎地域連合を皮切りに、12月17日の小田原・足柄地域まで、それぞれ総会を開催した。

役割と責任果たす運動を推進

連合神奈川は1月7日、ロイヤルホールヨコハマで新春の集いを開催。来賓として神奈川県松沢知事や横浜市中田市長、川崎市阿部市長らが顔をそろえたほか、602名が参加した。主催者としてあいさつに立った白石会長は「今、もっとも求められているのは、将来に対する“安心・安定”。それには、政治が国民に対して安心して頑張れる“明確な指標”を示すことが重要。今次春季生活闘争で、これまで真面目に努力してきた働く者として、その対価を正当に要求していく。好況な企業組合は率先して相場を引っ張り、中・小、未組織に働く仲間の底支えを図っていくことを強く望む。働く者たちの代表として、課せられた役割と責任を果たす運動を推進していく」と語った。来賓あいさつ、鏡割りに続いて真壁連合神奈川顧問の音頭で乾杯。交流した。



この字は創作で、乙酉(きのととり)を逆にしたもの。配るに似ていると見立て、「仕事の創出」「仕事における基本的人権の確保」「社会保障の充実」「社会的対話の推進」等の成果を配分する組合の仕事に当てはめてみた。

人権メッセージ展	12月1日から7日の日程で、横浜そごう前・新都市プラザで開催。著名人らの人権メッセージ展示など、多彩な催しが行われた。
2004年末交通安全キャンペーン	県下9地域連合がそれぞれの企画で展開。シートベルトの着用、チャイルドシートの使用、飲酒運転撲滅などスローガンを刷り込んだカットバンを配布。啓発につとめた。
今月の連合の日	阪神淡路大震災10年で防災呼びかけ スマトラ沖地震津波で緊急カンパ 1月12日、桜木町駅頭で防災を呼びかけるチラシを配布した。
「いざ」に備え家族との連絡	被災地区の伝言サービスは 171 に電話した後に、被災地区の自分の電話番号を登録すれば、その番号に伝言が登録できます。その後、他の人が同じように 171 に電話し、自分の電話番号を呼び出せば、その伝言を聞けることになります。

徒歩での行動の場合、神奈川県石油業協同組合参加の給油所では、一時休憩所として、飲料水、トイレを提供しています。また、ラジオの音声を流しておくなどの他、テレビ等による情報

帰宅ルートの確認

の提供、地図等による通行可能な道路に関する情報も提供します。

どんなに大きい地震でも、揺れるのはごくわずかな時間です。あわてずに落ち着いて行動しましょう。

連合神奈川機関紙『カレント』は今号から紙面を刷新、掲示・回覧形式となりました。これからもよろしくご愛読ください。
